

会議の開催結果について

- 1 会議名 平成30年度第1回上尾市総合教育会議
- 2 会議日時 平成30年8月23日（木）
午前・午後11時00分から12時00分まで
- 3 開催場所 本庁舎3階 庁議室
- 4 会議の議題 (1) 平成30年度新規・拡充事業の進捗状況について
(2) 平成31年度の事業の展望について
(3) 児童生徒の安心・安全対策について
(4) その他
- 5 公開・非公開の別 原則公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 無
- 8 問い合わせ先 秘書政策課
(担当課)

議事の経過

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-----------------|--|
| 司会 (市長政策室長) | <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>只今から、平成30年度第1回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます、市長政策室長の中島と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p> |
| 市長 | <p>皆様、こんにちは。ご紹介いただきました市長の畠山でございます。</p> <p>本日は、平成30年度の第1回目の総合教育会議ということで、開催できますことを喜んでいるところでございます。</p> <p>日頃から委員の皆様には、定例会や勉強会、研修会などご尽力を賜りまして、ありがとうございます。</p> <p>今、学校問題がある中で、これからの学校教育を今後、どうしていくか、今抱えている問題も含めて、今後の方針など話し合い、お互いが理解し合う中で進めていく状況を作ることは、素晴らしいことだと思っております。忌憚のない意見を私も言わせていただきたいと思いますし、お互いにそのように進めていただければありがたいと思っております。</p> <p>上尾の子どもたちのために、本市の教育行政の充実、発展に努め、皆さま方と一層連携を深めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p> |
| 司会 | <p>それでは、早速、会議に移らせていただきます。</p> <p>会議の進行につきましては、要綱第3条の規定により、畠山市長にお願い致します。</p> |
| 市長 | <p>要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>それでは、次第に従い進めて参ります。初めに、本会議の公開についてでございますが、本会議は「原則公開」となっております。</p> <p>事務局に確認します。本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p> |
| 事務局 (秘書政策課長) | <p>はい、本日傍聴者1名来ております。</p> |
| 市長 | <p>只今から、傍聴者に入場していただきます。事務局は、傍聴者を入場させてください。</p> |
| 事務局 (秘書政策課長) | <p>はい。お入りいただきください。</p> <p>お見えになっていましたが、別の場所に行かれてしまっています。後程お入りいただくような形をとらせていただければと思います。</p> |

市長

それでは、傍聴者が外にいるとのことなので、傍聴上の注意は来た段階で行いたいと思います。

それでは、**議題の(1)「平成30年度新規・拡充事業の進捗状況について」**、説明をお願いします。

教委事務局
(学校教育部長)

「ALT 活用事業」について

資料の1ページをお願いします。

今年度、ALT を小・中学校全体で2名増員していただきました。これによりまして、小学校3年生以上の児童・生徒が、すべての外国語活動、英語の授業において、ネイティブな英語を学習できるようになりました。現在、各学校では、「自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力」などの育成に努めております。

「英語教育推進事業」について

この夏休みの期間中に2泊3日で、「小学生イングリッシュキャンプ」を実施致しました。このキャンプでは、小学校5・6年生40名が、「県立・名栗げんきプラザ」におきまして、ALT と生活し、「英語」で、自己紹介やゲームをしたり、歌を歌ったりしました他、「桃太郎」をアレンジした英語劇にも挑戦しました。最初は指示が分からない子どもたちも、徐々に英語に慣れ、ALT の気持ちを推測したり、自分からALT に話しかけたりすることができるようになったという報告を受けております。

また、英検3級の取得率50%を目指し、5月に1回目の「中学生英検チャレンジ教室」を行いました。160名の募集をかけましたが、実際の参加者は63名に止まっております。2回目は9月に、3回目は1月に実施いたしますが、チャレンジ教室への参加者数、英検の受験者数と取得率などの「効果の検証」については、年度末に行う予定でございます。学校教育部は以上でございます。

教委事務局
(教育総務部長)

「中学校コンピューター整備事業」について

それでは2ページをお願いいたします。

まず、現在までの進捗状況について、国の第2期教育振興基本計画における教育用コンピューターの設置目標では、教育用コンピューター1台あたりの児童生徒数を3.6人としておりますが、上尾市では1台あたり、およそ12人となっております。また、校内LAN整備率では同様に、おおむね100%としておりますが、上尾市では9%（上尾中・中央小・富士見小：校舎改築の際に有線LANを整備）としております。成果・課題の欄になりますが、今年度に中学校コンピューター教室の機器の入れ替えに合わせ、中学校11校全校に無線LANを整備するよう事務を進めております。「解決策や方向性又は今後のスケジュール」ですが、現在、来年3月からのリース切り替えに合わせて、無線LAN整備を実施予定となっております。なお、平成31年度には、市内全小学校に対し、同様の整備を計画しており、普通教室の無線LANの整備率につきましては、100%となる予定でございます。説明は以上でございます。

| | |
|-------------------|---|
| 市長 | <p>只今、学校教育部長、教育総務部長からひと通り説明がありました。これにつきまして、意見等ございましたら、お願い致します。</p> |
| 大塚委員 | <p>中学校のコンピューターの台数について このところ、コンピューターの台数が同じ数整備されていますが、増やす予定はあるのでしょうか。上尾市は1台あたり12人で、国の第2期教育振興基本計画では、1台あたり3.6人とのことで、ずっと同じ台数できていますが、増やす予定はありますでしょうか。</p> |
| 教委事務局 (教育総務部長) | <p>現在、コンピューターの利用について、コンピューター室専用の部屋で、設置してあるパソコンを利用して学習している状況です。 今後、普通教室に無線LANの整備を予定しており、普通教室で無線LANを通じ、タブレットを使っていくということになります。 当然、1つの普通教室だけではなく、複数の教室でタブレットを使い、授業が可能になりますので、1台あたりの利用する人数は少なくなります。そういう予定で考えております。</p> |
| 市長 | <p>その他に何かありますか。</p> |
| 内田委員 | <p>英検チャレンジ教室について 出席率があまり高くなかったとういことですね。今年度は実施予定日が決まっていますが、各学校にチャレンジ教室を訪問で行うことはできないのでしょうか。どうしても、原市や尾山台方面など上尾市内の中心部から離れている子どもたちが自転車で来る、というのも大変だと感じます。出向いてチャレンジ教室が検討できないかというのが案であります。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | <p>ありがとうございます。ただ1学期は修学旅行あるいは運動部の活動が重なったこともありまして、2回目、3回目の動向もまた気になるころではありますが、それらも含めた拡大が必要という認識をしております。より良い事業が展望できるよう検討していきたいと考えております。</p> |
| 市長 | <p>検討するというところでよろしいでしょうか。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | <p>はい。</p> |
| 教育長 | <p>少し補足しますが、今回を踏まえて来年度大きく変えなければいけないと思います。その一つが、英検4級を入れなかったことです。実際のところ、中学2年生あたりから、4級から段階的に挑戦できるようにした方が良いと思います。学校の会場で英検を受験できるように、もう一度検討した方が良いでしょう。改善するところは改善し、他市の様子も参考にしながら、もう一度見直しをしなければいけないと思います。</p> |

| | |
|-----------------------------------|---|
| <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> | <p>先程、(内田) 委員さんからのご質問が、英検を受ける会場だと思ったのですが、検定の対策講座をしましたのが、東側が上尾公民館、西側がコミュニティセンターです。</p> |
| <p>市長</p> | <p>受けてもらいたいわけですから、良い環境にしていかなければいけないですね。</p> |
| <p>岡田委員</p> | <p>小学校英語教育について 小学校英語教育は何の時間にやっているのですか。</p> |
| <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> | <p>3・4年生は外国語活動という決められた時間割の中で、やっております。今現在5・6年生もまもなく、外国語という名称になりますが、外国語活動というのが週2コマ、国語、社会、算数、と並べて2時間、外国語活動という時間がございます。</p> |
| <p>岡田委員</p> | <p>全体の授業数が増えるということですか。</p> |
| <p>教委事務局 (学校教育部長) 教育長</p> | <p>はい。全体の授業数は増えます。 正式には来年度からですね。</p> |
| <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> | <p>そうですね。上尾市は前倒しで実施しています。正式には来年度からで、今年度から移行措置に入っています。円滑な実施ということで、それぞれ増やして進めております。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>総合的な学習の時間の中で、工夫して行ってきました。来年度からきちんとした教科となります。今年度実施したことが、来年度に活かされるように、前倒しで今年度から増やして実施しています。時間割はきつくなっています。</p> |
| <p>細野教育長職務 代理者</p> | <p>ALT 増員配置について 上尾は ALT を増員配置されており、他市に比べて配置をされていると思います。予算措置に対してお礼を申し上げます。私は ALT と実際に話をさせていただいたことがあります。常々感じていることは、日本人が「英語を学ぶ」ということは、大変難しいです。というのは、小学校、中学校で授業中に英語を習っても、家に帰ると英語を話す機会があまりなく、その中で英語を学ぶということは大変難しいです。ALT に英語を学ぶ上で何が大事なのか聞いたところ、ヒアリングとのことです。ALT のネイティブの先生が学校にいるということは、とても重要なことです。ALT の増員について、今後も予算配分を前向きに考えていただき、さらに英検チャレンジなど付加する形で行えればと思います。英語を話す、最終的に仕事で使えるということにも一步一步繋がっていくと思います。ぜひよろしく申し上げます。</p> |

| | |
|------------|--|
| 市長 | <p>ヒアリングが大事だということが分かります。今の ALT が子どもたちを教えて、先生方の英語力も上がるという相互の良い点もあります。ALT の活用の仕方や ALT を入れる必要があるか考える必要があります。</p> |
| 細野教育長職務代理者 | <p>ALT が朝から夕方まで学校にいることにより、廊下で子どもたちとすれ違った時や、休み時間に英語を話す機会も増えると思います。</p> |
| 市長 | <p>いくら英語を学んでも、家や周りでの英語を話す環境がないということが問題だと思います。今までのように覚えていけばいいや というのではなく、喋れて当たり前という風に時代は変化しています。感覚を変えていかなければいけないと思います。これだけ国際化になり、企業でも英語を使うことが多い状況になっているので、喋る環境をどうやって作るかということが大事だと思います。</p> |
| 細野教育長職務代理者 | <p>来年から予算を減らすことはしないでいただければと思います。</p> |
| 市長 | <p>喋る環境づくりがどうやったらうまくいくのか、今の学校教育を通して、一番良い方法は何か、ということを探求していき、そこにお金が必要だったら、予算を計上しなければいけないと思っています。</p> |
| 岡田委員 | <p>ALT の制度について 例えば、ALT の先生方が家族で来ている場合、家族の面倒等の対応はどのようになっているのでしょうか。</p> |
| 教育長 | <p>ALT は派遣社員で、派遣会社の方で対応しています。年度で変わる場合もあります。例えば夏休み等の長期休暇の間、母国に戻り、日本に戻って来ないので、新たな ALT を入れたいなど教育委員会に相談が来たりします。</p> |
| 岡田委員 | <p>ALT は学校だけの付き合いなののでしょうか。</p> |
| 教育長 | <p>はい。学校の中でしか子どもたちは ALT と会えません。</p> |
| 岡田委員 | <p>もっと身近に集まれば良いと思います。</p> |
| 市長 | <p>ALT はもっと身近な存在になり、みんなでチームプレーができるようになると良いと思います。</p> |
| 教育長 | <p>イングリッシュキャンプに派遣会社が協力をしてくださり、ALT が同行してくれました。その間、参加した小学生は ALT と一緒の環境の中で過ごすことができ、貴重な事業であり感謝しています。この事業をもう少し頻繁にできるようにすることは、課題も多く、派遣会</p> |

| | |
|-------------------|---|
| 教育長 | 社からすると、ここまでで手一杯ということもあります。例えば協働学習みたいな形で、ALT が一同に会した時にでも何かできると良いと思います。 |
| 市長 | <p style="text-align: center;">イングリッシュキャンプの募集について</p> <p>40名の定員に対して200名応募しています。振り分けはどのようにしているのですか。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | 抽選です。応募が多く、大変人気でした。 |
| 市長 | これだけ英語を習いたいという子が多く、抽選で外れてしまった子はどうするのですか。 |
| 教育長 | こんなに大勢の子が手を挙げてくださったので、是非拡充していただければありがたいです。 |
| 市長 | <p style="text-align: center;">今後の英語教育等の事業について</p> <p>ALT、国際交流委員会のメンバーもいますし、私たちの周りにも英語ができる方がいます。小中学生の英会話、英語教育にどう繋げていくか。目標は必ず英会話ができるようになることが目標で、英検もありますが、その先を目標にしても良いと思います。</p> |
| 教育長 | 基本は作った上で、これからの英語教育を目指しているものは、スピーチをして、ヒアリングをしてということも大事になってきます。 |
| 中野委員 | 私はこの3つの事業（ALT 活用事業・英語教育推進事業・中学校コンピュータ整備事業）を見たときに、これからますますグローバル化、情報化社会になりつつあり、今の子どもたちの授業を新しい教育によって変えていかなければいけない中で、どういうことを身に付けていくか、ということを担当した事業改善をしていかなければいけないと思います。そうした中、英語以外の教科も新たな環境に置かれた時に、自分がどういうふうに主体的に行動できるかという、他の教科も授業スタイルや学習課程が変わってくると思います。是非この辺りは、とても重要でこれからの子どもたちを育てていきたい資質だと思うので、より充実していければと思います。 |
| 市長 | 状況に合わせた施策を取り組んでいければと思います。他の教科でもそうですが、自信を持つと波及していきます。新たなことが見えてきます。この間もロッキャーバレーに行った、22校の22人の方も、「新しい視野が開ける」、「これから英会話をやっていきたい」、「国際交流をしたい」など色々と夢や目標がでてきたようです。前向きに、事業展開をしていくことが大事です。話し合うだけでなく、どのような施策が必要なのか教育委員会でもまとめてもらいたいと思います。 |

| | |
|-------------------|---|
| 市長 | <p>中学校のコンピューター事業について</p> <p>この間上尾中学校を視察させていただきました。Wi-fi はきちんと付けなければいけませんし、中学校を先行していますが、来年度小学校も整備するなど考えなければいけないと思います。これにより授業も色々と変わってくると思います。小学校でプログラミング教育を行うようになります。整備し使えるようにした方が良いと思います。</p> |
| 市長 | <p>他に無いようでしたら、議題の（２）平成31年度の事業の展望について、説明をお願いします。</p> |
| 教委事務局 （学校教育部長） | <p>「コミュニティ・スクール推進事業」について</p> <p>資料の3ページをお願い致します。</p> <p>今年度、3校が実施しておりますが、各学校とも、4月に、校長が示しました「学校運営の基本方針等」を、学校運営協議会・委員の皆様にご承認頂き、現在、それに沿った教育活動を展開しています。</p> <p>例えば、地域ボランティアを活用した学習教室や漢字検定、スケート教室などを行い、各学校とも、コミュニティ・スクールとしての具体的な取組を推進しております。</p> <p>現在、市内の小・中学校では、来年度の実施に向けて、委員の選出、協議会の内容の検討など、準備・研究を進めておりますが、学校教育部といたしましては、9月以降、3校の成果を、市内の各小・中学校に広めたり、「運営の手引き」を作成したりするなどして、来年度の「全校実施」に向けて、各学校が、確実に準備が進められるよう、支援して参ります。</p> |
| 教委事務局 （学校教育部長） | <p>「英語教育推進事業」について</p> <p>資料の1ページにお戻りいただきたく存じます。</p> <p>記載のないことも一部説明させていただきますが、小学生イングリッシュキャンプが、大変好評でありましたことから、すでに話が出ていますが、来年度は、1泊2日を2回、あるいは、1日で行う「デイ・キャンプ」を年に数回行うなど、中学生への拡大も視野に、様々な内容や方法について、予算の内容も先程ありましたので、実施時期などを検討したい、と考えております。</p> <p>また、英検につきましては、「効果の検証」を、年度末に行いますが、3級だけでなく、教育長から先ほど話がありましたが、4級も対象としたり、受検料の補助や、検定の場所を探るなど「拡大が必要」との認識で、こちらも今後、よりよい事業が展開できますよう、検討したいと考えております。</p> |
| 教委事務局 （学校教育部長） | <p>「タブレット導入の効果」について</p> <p>資料の5ページをお願い致します。</p> <p>先程、教育総務部長からも一部ありましたが、先日、市長に、中央小学校をご視察いただきましたが、無線LANが整備されておられませんことから、主にパソコン室を中心として、タブレット端末を、通常の「パソコン」として現在活用し、調べ学習やドリル学習などを行っております。タブレット機能としましては、パソコン室から取り出し</p> |

教委事務局
(学校教育部長)

て、例えば、図画工作の時間に、撮影した作品をプレゼンテーションしたり、体育館で、体育の時間に「技の動画」を見たりするなど、限定的ではありますが、授業の重要なツールとして活用しております。無線LANが整備されれば、タブレット端末としての用途は、格段に広がるものと考えております。

また、プログラミング教育につきましては、現在、鴨川小学校が、県教育委員会の研究指定を受け、プログラミング学習・支援ソフトを活用して、自動車型のロボットを動かすなどの学習を行い、「プログラミング的思考」を育成するための授業実践・研究を進めております。

二学期に、市内教員を対象とした「授業公開」を行う予定となっております。

学校教育部は、以上でございます。

「小・中学校コンピュータ整備事業」について

3ページにお戻りください。

「現在までの進捗状況」ですが、先ほどの説明とダブりますが、今年度、市内中学校全校に無線LANを整備予定ですが、平成31年度には、小学校22校全校に同様の環境整備を行う計画となっております。「成果・課題」の欄ですが、これにより、市内の小中学校の普通教室への無線LAN整備率は100%となります。

次に、「解決策や方向性又は今後のスケジュール」ですが、小学校パソコン教室のパソコン入れ替えに合わせ、平成31年11月より無線LANを整備できるようにしたいと考えております。

説明は以上です。

「タブレットの導入」について

続きまして、4ページをお願いいたします。

「現在までの進捗状況」ですが、平成25年に小学校のパソコン教室にタブレット端末を導入したところですが、現在は、無線LANの環境が整っていないため、パソコン教室内の利用に限られています。

その後、平成27年から28年にかけて、無線LAN環境の整備に向けた実証実験を実施したところです。

「成果・課題」になりますが、この実証実験により様々な教科や学習形態での無線LAN環境の有効な使い方や課題を検証することができたところです。

「解決策や方向性又は今後のスケジュール」ですが、さいたま市では全小中学校のパソコン教室にタブレット端末を導入済、桶川市におきましても今年度中に同様の予定、伊奈町においても今年度より導入開始予定となっております。

上尾市におきましては、全小学校でタブレット端末を導入済みですが、来年の3月より全中学校でも導入となる予定です。

説明は以上です。

教委事務局
(教育総務部長)

教委事務局
(教育総務部長)

市長

ありがとうございました。ただいま、学校教育部長、教育総務部長からひと通り説明がありました。これにつきまして、意見交換をしたいと思います。何かございますでしょうか。

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>市長</p> <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> | <p>「コミュニティスクールの効果」について</p> <p>コミュニティスクールでは、どういう効果を求めているのでしょうか。すでに3校で実施されておりますが、それと比較して違いや良いところ、差異がありましたら教えてください。</p> <p>運営協議会委員の皆様が、校長が示した「学校運営の基本方針等」を承認します。例えばPTAの会長、学校応援団の団長等が別々に活動していたものを一つの学校を何とかしようという意識で持って、それぞれの団体、協力機関が活動していただけるということが、一番大きなメリットというふうに捉えています。地域まるごと、学校の応援団になるという仕組みが今後整えられていくことが大きなメリットというふうに考えております。実際3校ともそのような方向で今進んでおります。</p> |
| <p>市長</p> | <p>3校がお手本となり広がっていくので、学校運営協議会は趣旨に沿った運営をしていただきたいです。今までは、先生の悩みなどクローズされている面もありましたが、意見も聞き、話し合いながら行ってもらいたいと思います。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>生徒が外に出るような仕組みを作ることも大事です。学校と地域住民等がお互い相互に横の関係でも情報交換ができるようになると良いと思います。お祭りなどの地域行事にも参加しやすくなります。来年度は全校で実施予定です。相互に、学校も地域の活動に貢献していく必要があります。学校だけが助けてもらうのではなく、学校も地域を助けていくことが必要だと思います。</p> |
| <p>市長</p> | <p>今までは学校だけの話が、地域活動も取り入れてお互いが年間の活動計画を作り、子どもも地元で溶け込んでいきやすいように、うまく取り入れていければ良いと思います。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>運動会も学校と地域で行っています。これから子どもが減っていく中で、地域の運動会に子どもが参加することで、学校行事も大きく変えられると思います。未だ具現化されていませんが、良い取り組みは積極的に取り入れて、上尾市のコミュニティスクールも、子どもたちにとって良いものになればと思います。</p> |
| <p>市長</p> | <p>私も原市地区に行ったら、運動会は子どもが主体となってやっていました。行くところ、それぞれ特色があります。参加したところにはいつも子どもがいるという地域の行事になると活気が出てきます。どこに行っても子どもがいるような行事にしていくといいのかなと思います。そのためにも学校との連携が必要になってきます。</p> |
| <p>細野教育長職務 代理者</p> | <p>学校と地域とが接点を持ち、子どもたちも地域に出ていき、地域も学校に入っていく、というのをしやすいようにしていくことが大事です。運動会を学校ではなく、地区で一緒に行うということができてきます。学校運営協議会を設置し、学校、地域などが責任を持って話し合いを行い、うまく連携していくと学校も社会も変わる気がします。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| 市長 | <p>子どもの遊び場について</p> <p>昔だと放課後に縄跳びをしたり、担任の先生も外に出て多少話したり、ということがありましたが今は忙しくなっています。</p> <p>今回の子ども議会で「みんなで安全に楽しく過ごせる遊び場」について質問ができました。最近では、ボールの使えない公園が多く、外で遊ぶことができないので、ボールの使える場所や遊び場を作ってほしいとの内容でした。身近な地域の学校の校庭で、昔みたいに遊べる環境があると良いです。他の団体に校庭を貸したり、体育館を使用したりということがあると思いますが、使用時間や使っていない時間を誰が見ても分かるようにして、子どもたちが遊べる時間を作るようにすることが必要です。</p> |
| 教育長 | <p>昔と違って、不審者問題などありますが、学校の校庭で遊べるというですね。実際はどうなのですか。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | <p>原則小学校では、平日、開放の団体が使っていなければ自由に来て使用して良いことになっています。学校によって友達と集まってサッカーをしたりしています。</p> |
| 教育長 | <p>土日も来ていいのですか。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | <p>土日は、野球やサッカーなど地域の団体が使用していない時は、使用していいことになっています。</p> |
| 教育長 | <p>そんなには、学校開放で社会人や他の団体に貸すということはないのですね。</p> |
| 教委事務局 (学校教育部長) | <p>はい。空いている時間はあります。体育館に関しては、怪我などの心配や施設の管理上問題があるので、体育館は自由に遊んでいいわけではありませんが、校庭は自由に遊んでいいことになっています。</p> |
| 市長 | <p>体育館も遊べるようにできるといいと思います。校庭は、使用していない時は、使えるようにし、また、場所を区切って一緒に使えるようにするのもいいかもしれません。</p> |
| 中野委員 | <p>使用できる時間も決まっていて、各学校が校庭を使えるようになっていると思います。昔は集まって何をしようかと話し合っていて決まっていたことが、今は子どもたちが学校に集まっても、ゲームを持ってきて、それぞれの子たちがゲームをしている状況が多くあります。場所の問題もありますが、子どもたちを取り巻く環境が変化しており、そういう変化に対応していかなければいけないと思います。</p> |
| 市長 | <p>学校に縄跳びやグローブを置いたり、お互いがキャッチボールできるようにするなど、遊び道具を置いて仕向けていかなければいけないと思います。</p> |

| | |
|--------|--|
| 教育長 | 仕向けておもしろいなと思えばいいですね。子どもたちは原則ゲームよりも、体を動かすということになれば、グラウンドで走ったり体を動かすと思います。 |
| 中野委員 | 休み時間に遊べるように、各学校に道具が設置してあると思いますが、放課後という塾に行く子や、行かない子もいたり、時間の使い方も様々です。家庭環境や色んな家庭のルールの中で、外ではなく、家の中で遊んでいる家庭もあります。状況が変化しています。 |
| 岡田委員 | 昔よりも、親も子どもと遊ぶ時間があまりないのではないかと思います。 |
| 市長 | 大変貴重なご意見ありがとうございました。(2)平成31年度の事業の展望についてはよろしいでしょうか。 時間になりましたので、残りの 議題(3)児童生徒の安心・安全対策 については、次回行いたいと思います。 他にないようでしたら、 議題(4)その他 に移ります。 何かありますでしょうか。 |
| 秘書政策課長 | 今回の総合教育会議の予定ですが、年内の定例教育委員会の会議に合わせて予定しております。また、日程が決まり次第、ご連絡申し上げます。よろしく申し上げます。 |
| 市長 | 続きの議題もあり、予算の時期でもあるので、少し早めに調整してもらえればと思います。これで議事はすべて終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。 大変有意義な会議であったと思います。今年度は3回の会議を予定しています。上尾の子ども達のために、今後も行政と教育委員会とがより一層連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それでは、進行を事務局にお返しします。 |
| 司会 | ありがとうございました。 それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、池野教育長からご挨拶をいただきたいと存じます。 |
| 教育長 | 本日は、第1回総合教育会議ということで、どうもありがとうございました。年内中の会議開催というお話もいただきましたので、会議につきましても事務局と連絡を密にさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。 |
| 司会 | 皆様、お疲れ様でした。以上で平成30年度第1回上尾市総合教育会議を閉会いたします。 |